

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	みさわ保育園
施設所在地	日野市三沢200番地
自治体名	日野市

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動あそび

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

みさわ保育園は、園周辺は体をたくさん動かして遊べる場所が多く、園庭遊びだけでなく園外への長距離の散歩も行っている。子ども達は自由あそびや散歩に行く中で、様々な遊びを展開させ身体を動かすことを楽しんでいるため、屋内では別の遊び、体の使い方にも興味関心があると感じたため。

2. 活動スケジュール

令和7年12月～令和8年1月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

平均台やカラートンネルをホールに設置する。また、設置方法は、サーキットあそびが出来るようにホールを一周するように設置した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・最初に保育士が見本となり、楽しいポイントや注意点などを姿や言葉で伝える。
- ・子どもたちはケンパッパに入りながら順番を待ち、参加する。
- ・全身を使ってサーキットあそびを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・バ

ランスお山は、片足でも両足でも上に立つことが難しそうなようすだったが、床に足がついてもチャレンジしてみようとする姿があった。1週目のやり方と4週目のやり方では、子どもたちの体の動きも変わってきて、出来なかったところを攻略してみようとする姿や友だちや異年齢の動きを見て真似して自分もやってみようとする姿も見られた。保育者や友だちとゴールできた達成感を共有し、「もっとやりたいね」「さっきできなかったけどできたよ」などのやり取りもしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・活動が始まると予想していた子どもの動きとは違う動きもあり、難しい所もあれば、予想していた動きとは違う動きで楽しむ姿の発見があった。難しいところは、置き方を変えてみたり、子どもたちの動きを見ながら、個数を減らしてみるなどの工夫をした。できてもできなくても笑顔で楽しむ姿やもう1回やってみよう、もっとやってみたいなど子どもの意欲を引き出すこともできた。